

香川県立三本松高等学校

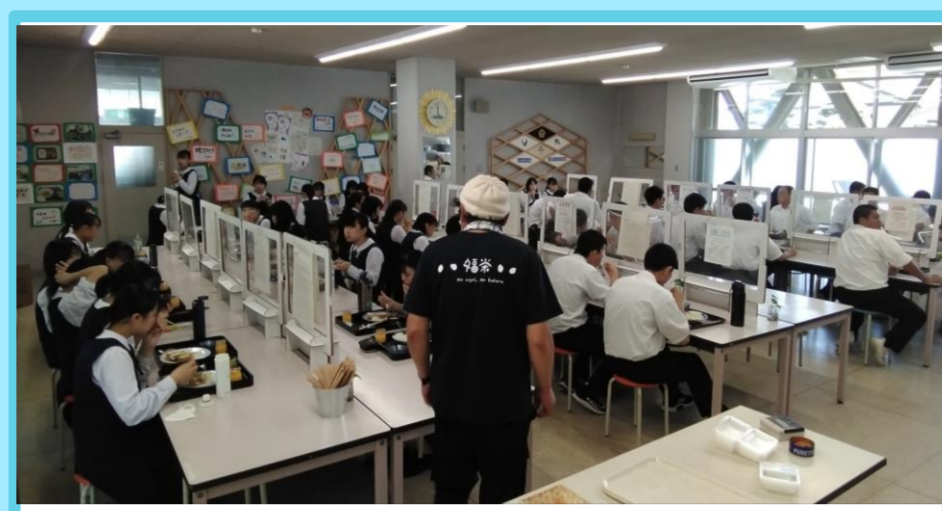
三高みんなの食堂プロジェクト

高校生ボランティア・アワード2022

「三高みんなの食堂プロジェクト」

【活動概要】

- 2020年9月に始めた「三高みんなの食堂プロジェクト」を地域を元気にする活動へと発展させていくことをめざしています。まずは学食を食事に加えて、今までにない高校生が活動する場として活用し、次のようなことを実現して、
 - ・地域の食材で美味しい食事が安く食べられる学食
 - ・生徒が活動して体験ができていろいろ学べる学食
 - ・地域との交流ができる学食
 さらに校内だけでなく地域の方にとって元気になる食堂にしていこうとしています。
- この「プロジェクト」は全校生徒と先生が参加者で、地域の方々とともに生徒が食堂を運営する側の意識で学食に関わり、自らの手で活性化するための活動をしています。さらに自主的に名乗り出た52人のリーダーが中心となり地域の方と協力して、地産地消や食品ロスの削減につながる活動やメニュー開発、作物の生産、地域マルシェへの参加などを行っています。
- 「プロジェクト」は授業でも部活動でもない完全な自主活動です。みんな勉強や部活動をしながら自分で時間を作りだして活動しています。できる時間であることをそれぞれが出し合って自分たちの食堂を良くしていく活動です。
- 経営状況を良くして、食堂が継続していくための活動にみんなで協力しています。
 - ・メニューは日替わり定食のみ
 - ・食券は朝までに買ってその数しか作らない
 - ・規格外の野菜を積極的に使ってもらう
 SDGsにもつながることもおおくあります。
- 食堂の運営は地域の生産者である農業法人の方がしてくれています。地元でとれた米や野菜を中心に安心して栄養バランスのとれた定食を提供してくれています。
- まずは学食を良いものにする活動を行っています、そしてその学食を起点に食を通して地域が元気になることをめざしての活動を日常的継続的にみんなで進めています。
- 今後は、高齢者など地域の方にも学食を利用してもらう地域の人どうしや生徒との交流をしていく計画を進めています。また、余剰作物を収集して再配分する活動などにも取り組んでいこうとしています。



食堂の様子



畑で収穫<畑チーム>
校内の空き地を開墾して畑をつくりました



地域イベント<マルシェチーム>
考案したレシピの弁当やお菓子販売



餅つき<イベント企画チーム>
地域の餅つき名人を招いて交流

「自分たちの手で盛り上げる」

【目標】

私たちの活動の目的は、地域を元気にすることですが、その前にまず自分たちの学校の食堂を自分たちの力で盛り上げて、どこにもないような素晴らしい場所にすることにチャレンジしています。

「三高みんなの食堂プロジェクト」では三本松高校全体が様々な形で活動に参加し、率先して名乗り出たリーダーが中心となって地域の方々に助けを求めたり協力してもらったりして食堂を良くしようと活動しています。

良い食堂にしてそこを起点にして地域全体を盛り上げていこうとしています。

先輩から受け継いでいる目標は大きなものがあります。食の活動でまちを活性化することです。

- ① まずは、自分から行動して地域の人とともに自分たちの学食を良くする活動をする
- ② 活動を通して現在の地域とのつながりをさらに深めていく
- ③ この経験を活かして将来自分たちが地域を良くする活動をして、次の世代にもつないでいく
- ④ 人のつながりがあって明るく元気なまちにする

人々の笑顔が増え、地域全体が盛り上がると思っています。先輩たちが作った伝統を受け継ぎ、次の世代の人にもつなぎ、自分たちで、食を通して地域全体を良くしたいです。

【活動目標】「みんな、自分にできることを継続的に」

プロジェクトは、食堂で食べること、事前に食券を買うこと、リーダーを応援すること、食堂のことを知ること・考えること、リーダーとしての活動 など すべてが参加です。

【活動内容】

活動目標は、「みんなが、自分のできることを考えて、できる時間で行動すること、そしてそれを続けること」です。プロジェクトは、強制されることのない完全な自主活動なので自ら進んで誇りをもって活動しています。三高みんなの食堂プロジェクトではまずは食堂を良くしていくために自分から名乗り出たリーダーが中心となって様々なチームを作って活動しています。現在活動している7つのチームを紹介します。

- <畑チーム>
先輩は学校の空き地に畑を作ることから始めました。畑で育てた野菜を食堂の食材として活用しています。
- <メニュー開発チーム>
地元の農家さんから規格外のプロッコリーを頂いて冷製スープに調理しています。また、そのスープの搾りかすをもプロッコリーのクッキーに調理しています。
- <内装・装飾チーム>
地域産業の使われていないものや廃棄物を再利用しています。
- <総務チーム>
各チームに必要な費用の管理をし、経営改善に向けた取り組みを行っています。全校生への啓発活動や冷凍飲料の仕入れ販売もしています。
- <マルシェチーム>
地域のイベントにマルシェをだして自分たちが考えたオリジナルメニューや地域の野菜を販売しています。
- <イベント企画チーム>
校内の梅でジュースづくりをして配ったり、ハロウィーンなど季節のイベントをしています。
- <広報チーム>
イベントの告知や手書きメニューの掲示や、栄養コラム、ホームページの作成などを行っています。

また、新しいチームを作って活動する計画しているリーダーもいますのでもうすぐチームが増えそうです。地域の人に学食を利用してもらうための準備もしています。

みんなで食という毎日の活動で継続的に取り組んでいます
SDGsにつながる活動がたくさん！



- 日替わり定食400円、地元産の米や野菜でおいしく作ってくれています
- ときどき地域の方からの野菜の提供があります
- 地域の料理人の方がメニュー開発の指導に来てくれます
- 「一日食堂」地域の飲食店の方が学校に来てお店の料理を出してくれます。イタリアンのお店やカフェなどの方が来てくれてすぐに食券が売り切れる大人気です。お店の方も喜んでくれ、お互いのことがわかる良い機会になっています。

【成果・実績】

この活動を始める前までの食堂は利用者が少なく、経営が困難な状態に陥っていましたが、この活動を始めたことをきっかけに、今ではたくさんの利用者が賑わっています。地元産の食材で安くおいしい栄養バランスのとれた定食が食べられています。

誰かに言われてするのではなく、自分で考えている試すことで、高校生として自分たちでもできることがあることがわかりました。学校の食堂という場所を自分たちの力で大きく変えていけるという自信をもつことができました。

地域の方とのかかわりが増え自分たちが応援され期待されていることがわかり、食材の良さや地元の人へのすばらしさを知ることができました。

地域の方々と関わることで状況を良くすることができ、将来的に自分たちでも地域を良くしていく活動に積極的に関わっていきたいと思うようになりました。将来私たちも地元のためにできることを考えて実践していきたいと思っています。

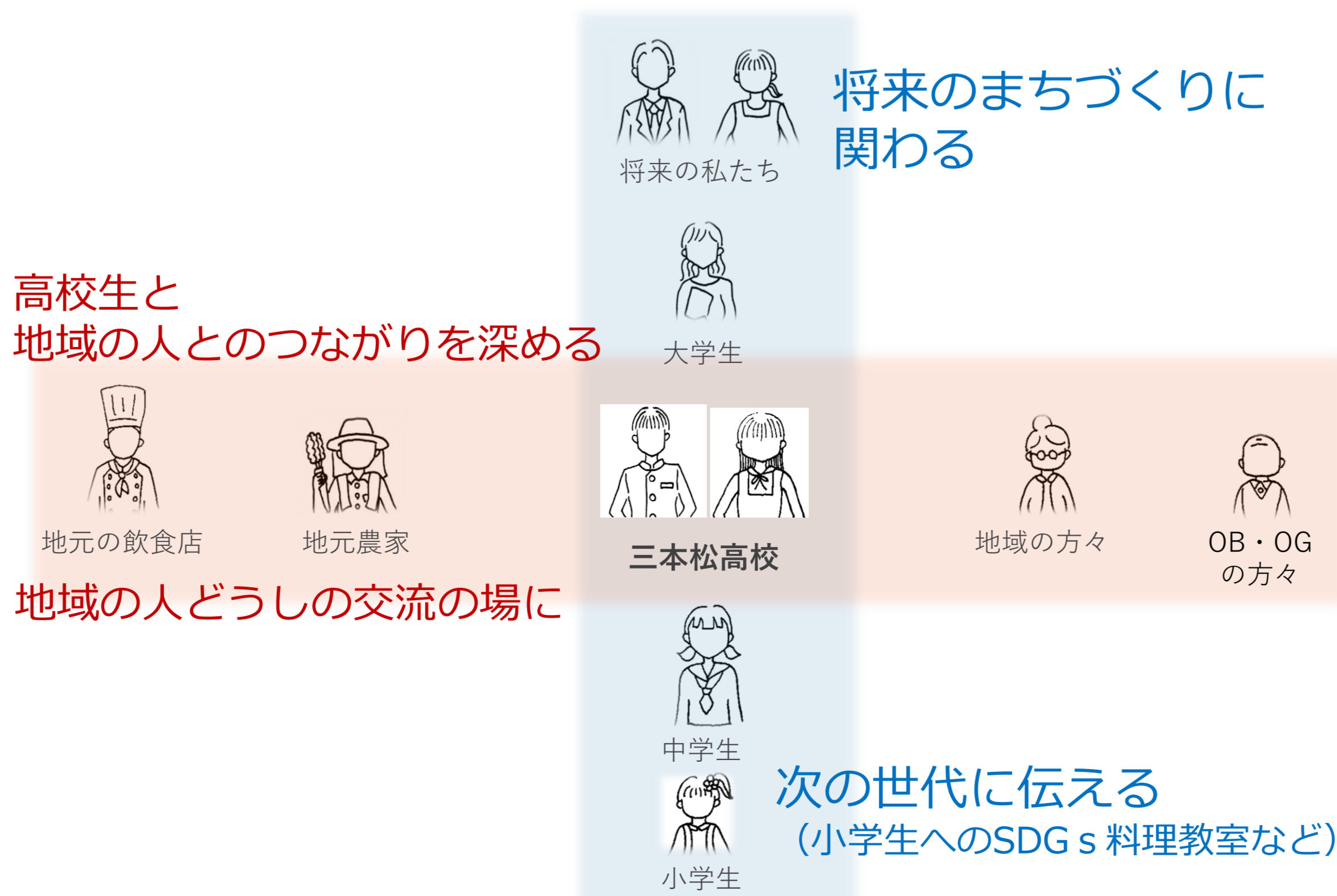
自分がやってみたいことや何をやるかを考えることとそれを実際に実行できたことがよかったです。活動が進路につながった先輩もいます。

色々なメディアで取り上げていただき、みんなのやりがいになり、地域の人にも喜んでもらっています。

「食堂から地域を元気に」

私たちは今後、地域の人々と協力してさらに学食を盛り上げ、地域を元気にしていきたいと思っています。そのためにまず、高齢者など地域の人々にも食堂を利用してもらう、食堂が地域の方どうしや生徒との交流の場として、地域の貴重な話を聞くなどしていきたいと思えます。そうすることによって地域への理解が深まり、より地元への愛着心が生まれると思えます。高齢者の方もみんなでお食事をすればつながりができ楽しく元気になると思います。加えて、地域の方と顔見知りになり地域の防犯や防災にもなると考えています。また、自分たちが大人になったときにしっかり地域に関わる人になることで、将来のまちを良くしていきます。次世代の人にも地域の良さを伝えて広げていき、意識を高めて地元の伝統を受け継いでいけるようにしていきたいと思っています。

私たちが、横（現在）と縦（将来）のつながりをつくります



校内の梅の収穫 梅ジュースづくりに活用

活動団体プロフィール

「三高みんなの食堂プロジェクト」は、2020年の9月から活動を開始して、活動期間は1年9ヶ月です。地域の人たちと一緒に自分たちの手で三本松高校の学食をよくし、そこを中心にして地域を元気にする活動しようとしているプロジェクトです。プロジェクトは三本松高校の生徒全員と先生でみんなが自分のできることをできるときに実行しています。さらに積極的に関わるプロジェクトリーダーはみんな自分から進んでいるんなことを行っています。プロジェクトが始まったときは24人のリーダーでしたが今は52人になっていて、学年やクラス関係なく仲良く活動しています。先輩方から引き継いだことだけでなく新しいことにもチャレンジしながらがんばっています。